

盛岡シネマタウン社会実験  
～歩いて楽しいまちを目指して～

盛岡の大通り等の中心市街地において、「歩いて楽しむ街」としての街の魅力を向上させるため、みちのく国際ミステリー映画祭等の市民イベントと合わせて、大通りのトランジットモール化（一般車両の進入禁止と小型ノンステップバスの運行）とオープンカフェを実施し、その効果や課題等について検証を行った。検証結果については2005年2月のフォーラムで発表予定である。

平成16年度国土交通省委託事業  
盛岡シネマタウン社会実験

事業主体：盛岡シネマタウン社会実験実行委員会  
 特定非営利法人いわてNPOフォーラム21  
 盛岡大通商店街協同組合  
 岩手県技術士会都市部会  
 社団法人岩手県バス協会  
 岩手県  
 盛岡市  
 他

盛岡シネマタウン社会実験は国土交通省が行う社会実験に採択され、国からの補助金を受けて行われた。事業主体は「いわてNPOフォーラム21」を中心に県や市など様々な団体で構成された実行委員会である。

トランジットモール化



1日の交通量が約1万台ある大通り

盛岡市中心部にある大通りの商店街を午前11時から午後6時までの間、一般車両（タクシーは除く）を進入禁止とした。その間小型ノンステップバスの運行やサイクルライドの促進を実施して、その有効性の検証を行った。



①賛否が分かれたタクシーの運行



②概ね好評でんでんむし大通り号（小型低床バス）の運行



③交通量の規制による自転車にやさしい道路空間

## パーキングスペースの活用



普段の大通りの歩道は、歩行空間を侵食するように自転車が停められている。自動車規制により普段パーキングチケットスペースとして利用している空間を駐輪スペースやオープンカフェ、その他イベントのスペースとして活用し、まちのにぎわいの演出を図った。

38台のパーキングチケットスペース



①自転車のないゆとりある歩行空間



②オープンカフェの実施



③市民が作成したオブジェの展示